○薬理学２：612-3-DP1・DP3・DP4・DP7

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	三枝　禎（薬理学）

学修目標（ＧＩＯ）と単位数	・単位数：３単位 ・学修目標（ＧＩＯ）：薬物を有効かつ安全に使用するため，歯科医師として備えるべき薬理学の知識を確実に身につける。また，薬物の効果を客観的に解析する方法を知る。 　実験動物の尊い犠牲のもとに行われる実習を通じて，座学で学んだ事柄を医療の場で運用可能な実践的な知識にする。
担当教員	三枝　禎、松本　裕子、青野　悠里、川島　央暉、石毛　久美子、※松﨑　桂一、※石濱　済美、※岡田　秀彦、※鹿島　健司、※郡司　明彦、※佐藤　裕介、※田村　幸彦、※勅使川原　洋、※富山　勝則、※箱崎　浩介、※横山　仁恵
教科書	現代歯科薬理学 第６版　鈴木邦明　他　医歯薬出版
参考図書	ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学　大浦清　他　永末書店 NEW薬理学　田中千賀子、加藤隆一、成宮周　南山堂 エース薬理学　金井好克監修，安西尚彦・安藤仁・浅井聰編集　南山堂
評価方法（ＥＶ）	講義：平常試験（90％：3回予定）の成績，課題（10％：5回程度の見込み）への回答状況によって評価する。 平常試験の結果、課題への回答状況に基づき，再試験やレポート提出を課すことがある。 総授業時間数の1/5以上を欠席した場合，再試験の受験資格は与えない。追試験は正当な理由がない限り行わない。 実習：平常試験（60％：1回のみ予定），レポートの記載内容（30％），準備状況を指標とした実習に臨む姿勢と受講状況（10％）によって評価する。 講義（約60％），実習（約40％）の割合で最終評価とする。
学生へのメッセージオフィスアワー	授業・実習ともプリントを用いるが，教科書が理解の助けになるのでなるべく持参すること。 授業内容や学修について不明の点は質問して下さい。 歯科臨床・実務に関する豊かな知識と経験を活かし、医学・歯科医学・薬物治療に関する歴史のほか，倫理，社会との関わりについても説明する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/10（月） 2時限 10:40～12:10	動物実験の意義	【授業の一般目標】 動物実験がいかなる場合に社会から容認されるかについて復習する。「全身麻酔薬・筋弛緩薬実習」の手順について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.動物実験の意義について説明できる。 2.動愛法に盛り込まれた3Rの原則を挙げられる。 3.　「全身麻酔薬・筋弛緩薬実習」の手順について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 動物実験の留意点について説明できる。「全身麻酔薬・筋弛緩薬実習」について説明できる。 準備学修時間：約30分 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 イ　周術期の管理 ｄ　術前・術中・術後管理 ｂ　全身麻酔 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。	三枝　禎
2023/04/10（月） 3時限	中枢神経系に作用する薬物（１）	【授業の一般目標】 中枢神経に作用する薬物のうち催眠薬，抗てんかん薬，鎮静薬について知り，	三枝　禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:10～14:40	中枢神経系に作用する薬物（１）	その作用の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 中枢神経に作用する薬物で見られる生体内分布の面で共通した性質を知る。 2. 向精神薬を分類し，代表的な薬物を列挙できる。 3. 催眠薬，抗てんかん薬，鎮静薬を分類し，代表的な薬物を列挙できる。 4. 催眠薬，抗てんかん薬，鎮静薬の作用機序を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 中枢神経の働きと仕組み，催眠薬，抗てんかん薬，鎮静薬について説明できる。（教科書：p143-152，159-161） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ-６-３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎
2023/04/10（月） 4時限 14:50～16:20	末梢神経系に作用する薬物	【授業の一般目標】 末梢神経系の機能について関与する神経伝達の様式の面から復習する。神経筋接合部に作用する薬物を知り，その作用機序について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 交感神経および副交感神経に対する薬物の作用について説明できる。 2. 神経筋接合部に作用する薬物について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 末梢神経の働きと仕組みについて説明できる。末梢神経系に作用する薬物のうち，神経筋接合部に作用する薬物について説明できる。（教科書：p106-126） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ-６-３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎
2023/04/17（月） 2時限 10:40～12:10	中枢神経系に作用する薬物（２）	【授業の一般目標】 中枢神経に作用する薬物のうち，抗不安薬，抗うつ薬，抗躁薬を知り，その作用の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 抗不安薬を挙げ，臨床上の用途と作用の特徴について説明できる。 2. 抗うつ薬を挙げ，臨床上の用途と作用の特徴について説明できる。 3. 抗躁薬を挙げ，臨床上の用途と作用の特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 抗不安薬，抗うつ薬，抗躁薬について説明できる。（教科書：p144-150，156-159） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分	三枝　禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/17（月） 2時限 10:40～12:10	中枢神経系に作用する薬物（２）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。	三枝　禎
2023/04/17（月） 3時限 13:10～14:40	中枢神経系に作用する薬物（３）	【授業の一般目標】 中枢神経に作用する薬物のうち，抗精神病薬，抗パーキンソン病薬，認知症治療薬について知り，その作用の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.抗精神病薬の臨床上の用途と作用機序について説明できる。 2.パーキンソン病治療薬とその作用機序について説明できる。 3.認知症の治療薬とその作用機序について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 抗精神病薬，抗パーキンソン病薬，認知症治療薬について説明できる。（教科書：p152-156，161-163） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。	三枝　禎
2023/04/17（月） 4時限 14:50～16:20	鎮痛薬	【授業の一般目標】 鎮痛薬の分類を知る。鎮痛薬の作用の特徴と作用機序について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.鎮痛薬を分類できる。 2.鎮痛薬の作用の特徴について説明できる。 3.鎮痛薬の作用機序について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 鎮痛薬の作用の特徴と作用機序について説明できる。（教科書：p135-143，253-264） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ａ　鎮痛薬 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学	三枝　禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/17（月） 4時限 14:50～16:20	鎮痛薬	C-6　生体と薬物 C-6-2）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-3）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎
2023/04/24（月） 2時限 10:40～12:10	非ステロイド性抗炎症薬	【授業の一般目標】 代表的な非ステロイド性抗炎症薬について知り，作用機序について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.代表的な非ステロイド性抗炎症薬を挙げられる。 2.非ステロイド性抗炎症薬の作用機序を説明できる。 3.非ステロイド性抗炎症薬の作用の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 非ステロイド性抗炎症薬について説明できる。（教科書：p253-264） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｂ　抗炎症薬 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C-6　生体と薬物 C-6-2）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-3）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎
2023/04/24（月） 3時限 13:10～14:40	ステロイド性抗炎症薬	【授業の一般目標】 代表的なステロイド性抗炎症薬を知る。ステロイド性抗炎症薬の作用の特徴と作用機序について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.代表的なステロイド性抗炎症薬を挙げられる。 2.ステロイド性抗炎症薬の作用の特徴について説明できる。 3.ステロイド性抗炎症薬の作用機序について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ステロイド性抗炎症薬の作用の特徴と作用機序について説明できる。（教科書：p246-253） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｂ　抗炎症薬 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C-6　生体と薬物 C-6-2）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。	三枝　禎
2023/04/24（月） 4時限 14:50～16:20	局所麻酔薬	【授業の一般目標】 局所麻酔薬の分類について知る。代表的な局所麻酔薬とその作用の特徴および作用機序を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.局所麻酔薬が分類できる。 2.代表的な局所麻酔薬を挙げられる。 3.局所麻酔薬の作用の特徴を説明できる。 4.局所麻酔薬の作用機序を説明できる。	三枝　禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/04/24（月） 4時限 14:50～16:20	局所麻酔薬	【準備学修項目と準備学修時間】 局所麻酔薬とその作用の特徴および作用機序について説明できる。（教科書：p232-240） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ａ　局所麻酔 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－１　診療の基本 Ｅ－１－４）　歯科医療に必要な麻酔と全身管理 Ｅ－１－４）－（３）　局所麻酔法 ①局所麻酔の特徴と目的及び種類を説明できる。 ②局所麻酔薬の分類と、その作用機序を説明できる。 ④血管収縮薬の使用目的と種類、特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。	三枝　禎
2023/05/01（月） 2時限 10:40～12:10	血液に作用する薬物	【授業の一般目標】 止血薬，抗凝固薬について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.止血―線溶機構について理解を深める。 2.止血薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。 3.止血薬の作用機序が説明できる。 4.抗凝固薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。 5.抗凝固薬の作用機序が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 止血―線溶機構が説明できる。止血薬、抗凝固薬を挙げられる。（教科書：p175-188） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｆ　止血薬、抗血栓薬 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	青野　悠里
2023/05/01（月） 3時限 13:10～14:40	全身麻酔薬・筋弛緩薬実習（１）	【授業の一般目標】 全身麻酔薬，向精神薬，筋弛緩薬の作用について実験動物の行動を観察して理解を深める。また，実験動物の行動を指標として薬効を客観的に評価する方法について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物の作用を，実験動物の行動を指標として捉えることができる。 2.薬物の併用投与が起こす現象について説明できる。 3.全身麻酔薬、向精神薬、筋弛緩薬の作用機序について説明できる。 4.客観的に薬効を評価する方法について説明できる。 5.エタノール（酒）の示す生体現象と体内動態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理作用の種類・薬物の併用投与が起こす現象について復習する。イソフルラ	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/01（月） 3時限 13:10～14:40	全身麻酔薬・筋弛緩薬実習（１）	ン，ペントバルビタール，クロルプロマジン，パンクロニウム，ジアゼパム，フルマゼニルの作用の特徴について知る（教科書：各薬物を索引で検索）。エタノール（酒）の示す生体現象と体内動態について簡潔に説明できる（教科書：p133-135）。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｂ　全身麻酔 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/01（月） 4時限 14:50～16:20	全身麻酔薬・筋弛緩薬実習（１）	【授業の一般目標】 全身麻酔薬，向精神薬，筋弛緩薬の作用について実験動物の行動を観察して理解を深める。また，実験動物の行動を指標として薬効を客観的に評価する方法について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物の作用を，実験動物の行動を指標として捉えることができる。 2.薬物の併用投与が起こす現象について説明できる。 3.全身麻酔薬、向精神薬、筋弛緩薬の作用機序について説明できる。 4.客観的に薬効を評価する方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理作用の種類・薬物の併用投与が起こす現象について復習する。イソフルラン，ペントバルビタール，クロルプロマジン，パンクロニウム，ジアゼパム，フルマゼニルの作用の特徴について知る（教科書：各薬物を索引で検索）。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｂ　全身麻酔 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/08（月） 2時限 10:40～12:10	消毒薬，防腐薬	【授業の一般目標】 消毒薬を分類して列挙できる。収斂作用と腐食作用について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.消毒薬の作用機序について説明できる。 2.消毒薬の効果に影響を与える因子について説明できる。 3.消毒薬を分類し，代表的な薬物を挙げることができる。 4.HBV，HIVに有効な消毒薬を挙げることができる。 5.収斂作用と腐食作用について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 酸化剤，ハロゲン系，アルコール類，アルデヒド類，フェノール類，精油類，第四級アンモニウム塩，クロルヘキシジングルコン酸塩，両性界面活性剤，その他の消毒薬に分類される代表的な消毒薬を挙げ，それぞれの特徴と用途について簡潔に説明できる。（教科書：p350-367） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認	青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/08（月） 2時限 10:40～12:10	消毒薬，防腐薬	事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ア　手術 ｂ　消毒と滅菌 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ-６-３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 Ｃ-６-４）　薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	青野　悠里
2023/05/08（月） 3時限 13:10～14:40	全身麻酔薬・筋弛緩薬実習（２）	【授業の一般目標】 薬効を客観的に評価する統計学的手法について知る。次回行う「鎮痛薬実習」の手順について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物の作用を，実験動物の行動を指標として捉えることができる。 2. 薬物の併用投与が起こす現象について説明できる。 3. 全身麻酔薬、向精神薬、筋弛緩薬の作用機序について説明できる。 4. 薬効を客観的に評価する統計学的手法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理作用の種類・薬物の併用投与が起こす現象について理解を深める。イソフルラン，ペントバルビタール，クロルプロマジン，パンクロニウム，ジアゼパム，フルマゼニルの作用の特徴について理解を深める（教科書：各薬物を索引で検索）。次回行う「鎮痛薬実習」の手順を説明できる。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｂ　全身麻酔 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 Ｃ-６-３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/08（月） 4時限 14:50～16:20	全身麻酔薬・筋弛緩薬実習（２）	【授業の一般目標】 薬効を客観的に評価する統計学的手法について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物の作用を，実験動物の行動を指標として捉えることができる。 2. 薬物の併用投与が起こす現象について説明できる。 3. 全身麻酔薬、向精神薬、筋弛緩薬の作用機序について説明できる。 4. 薬効を客観的に評価する統計学的手法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理作用の種類・薬物の併用投与が起こす現象について理解を深める。イソフルラン，ペントバルビタール，クロルプロマジン，パンクロニウム，ジアゼパム，フルマゼニルの作用の特徴について理解を深める（教科書：各薬物を索引で検索）。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/08（月） 4時限 14:50～16:20	全身麻酔薬・筋弛緩薬実習（２）	実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｂ　全身麻酔 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/15（月） 2時限 10:40～12:10	平常試験１（講義）	【授業の一般目標】 薬理学２の講義（4月10日～5月8日）に関する筆答試験を行う。 平常試験１（講義）は初回以降の講義から出題する。実習に関する講義と実習での内容は平常試験３で出題する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬理学２のこれまで講義の要点を記述できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理学２のこれまで講義の要点が説明できる。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：120分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 ａ　鎮痛薬 ｂ　抗炎症薬 ｇ　齲蝕予防薬 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/15（月） 3時限 13:10～14:40	用量反応曲線実習（１）	【授業の一般目標】 シミュレータを用い，用量反応関係について理解を深める。競合的拮抗が起こる仕組みについて知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 用量反応曲線について説明できる。 2. 競合的拮抗と非競合的拮抗について説明できる。 3. 腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 用量反応曲線を用いて競合的拮抗について説明できる。アセチルコリンまたはヒスタミン受容体をそれぞれ分類できる。腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。（教科書：p8-11，12-21，31-35，115） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/15（月） 3時限 13:10～14:40	用量反応曲線実習（１）	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｂ　用量と反応 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/15（月） 4時限 14:50～16:20	用量反応曲線実習（１）	【授業の一般目標】 シミュレータを用い，用量反応関係について理解を深める。競合的拮抗が起こる仕組みについて知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.用量反応曲線について説明できる。 2.競合的拮抗と非競合的拮抗について説明できる。 3.腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 用量反応曲線を用いて競合的拮抗について説明できる。アセチルコリンまたはヒスタミン受容体をそれぞれ分類できる。腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。（教科書：p8-11，12-21，31-35，115） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｂ　用量と反応 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/22（月） 2時限 10:40～12:10	消毒薬，防腐薬	【授業の一般目標】 消毒薬を分類して列挙できる。収斂作用と腐食作用について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.消毒薬の作用機序について説明できる。 2.消毒薬の効果に影響を与える因子について説明できる。 3.消毒薬を分類し，代表的な薬物を挙げることができる。 4.HBV，HIVに有効な消毒薬を挙げることができる。 5.収斂作用と腐食作用について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 酸化剤，ハロゲン系，アルコール類，アルデヒド類，フェノール類，精油類，第四級アンモニウム塩，クロルヘキシジングルコン酸塩，両性界面活性剤，その他の消毒薬に分類される代表的な消毒薬を挙げ，それぞれの特徴と用途について簡潔に説明できる。（教科書：p350-367） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ア　手術 ｂ　消毒と滅菌 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物	青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/22（月） 2時限 10:40～12:10	消毒薬，防腐薬	C-6-2）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-3）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 C-6-4）　薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	青野　悠里
2023/05/22（月） 3時限 13:10～14:40	用量反応曲線実習（2）	【授業の一般目標】 用量反応関係について理解を深める。競合的拮抗が起こる仕組みについて知る。また次回行う「薬物動態実習」の手順について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 用量反応曲線について説明できる。 2. 競合的拮抗と非競合的拮抗について説明できる。 3. 腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 用量反応曲線を用いて競合的拮抗について説明できる。アセチルコリンまたはヒスタミン受容体をそれぞれ分類できる。腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。（教科書：p8-11，12-21，31-35，115）次回行う「薬物動態実習」の手順を説明できる。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｂ　用量と反応 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C-6　生体と薬物 C-6-2）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/22（月） 4時限 14:50～16:20	用量反応曲線実習（2）	【授業の一般目標】 用量反応関係について理解を深める。競合的拮抗が起こる仕組みについて知る。また次回行う「薬物動態実習」の手順について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 用量反応曲線について説明できる。 2. 競合的拮抗と非競合的拮抗について説明できる。 3. 腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 用量反応曲線を用いて競合的拮抗について説明できる。アセチルコリンまたはヒスタミン受容体をそれぞれ分類できる。腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。（教科書：p8-11，12-21，31-35，115）次回行う「薬物動態実習」の手順を説明できる。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｂ　用量と反応 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C-6　生体と薬物 C-6-2）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/29（月） 2時限 10:40～12:10	抗感染症薬	【授業の一般目標】 代表的な抗菌薬，抗真菌薬，抗ウイルス薬について知り，各薬物の作用の特徴を理解する。	松本　裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/29（月） 2時限 10:40～12:10	抗感染症薬	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.選択毒性について説明できる。 2.殺菌作用と静菌作用について説明できる。 3.抗菌薬の作用機序について説明できる。 4.抗菌薬を分類し，代表的な薬物を列挙できる。 5.抗真菌薬を挙げ，作用の特徴を説明できる。 6.抗ウイルス薬を挙げ，作用の特徴と臨床応用について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 代表的な抗菌薬，抗真菌薬，抗ウイルス薬を挙げ，各薬物の作用機序について簡単に説明できる。（教科書：p265-293） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｃ　抗微生物薬 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ①薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ-６-４）　薬物の副作用と有害作用 ②薬剤耐性(antimicrobial resistance 〈AMR〉)に配慮した適切な抗菌薬使用を説明できる。	松本　裕子
2023/05/29（月） 3時限 13:10～14:40	鎮痛薬実習（１）	【授業の一般目標】 鎮痛薬および関連薬の作用を実験動物の行動を指標として解析し，これらの薬物の作用の特徴について理解を深める。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.実験動物の侵性疼痛反応とその評価法について説明できる。 2.薬物の併用が起こす現象（競合的拮抗）について説明できる。 3.麻薬性鎮痛薬の作用機序について説明できる。 4.客観的に薬効を評価する方法について説明できる。 5.エタノール（酒）の示す生体現象と体内動態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 鎮痛薬を分類し，代表的な薬物を列挙できる（教科書：p135-143，253-264）。エタノール（酒）の示す生体現象と体内動態について簡潔に説明できる（教科書：p133-135）。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ａ　鎮痛薬 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 Ｃ-６-３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/05/29（月） 4時限 14:50～16:20	鎮痛薬実習（１）	【授業の一般目標】 鎮痛薬および関連薬の作用を実験動物の行動を指標として解析し，これらの薬物の作用の特徴について理解を深める。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.実験動物の侵性疼痛反応とその評価法について説明できる。 2.薬物の併用が起こす現象（競合的拮抗）について説明できる。 3.麻薬性鎮痛薬の作用機序について説明できる。 4.客観的に薬効を評価する方法について説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/05/29（月） 4時限 14:50～16:20	鎮痛薬実習（１）	【準備学修項目と準備学修時間】 鎮痛薬を分類し，代表的な薬物を列挙できる。（教科書：p135-143，253-264） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ａ　鎮痛薬 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/06/05（月） 2時限 10:40～12:10	抗腫瘍薬	【授業の一般目標】 代表的な抗腫瘍薬を挙げ，作用機序について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.抗腫瘍薬の一般的な副作用とその原因を挙げることができる。 2.抗腫瘍薬を分類し，代表的な薬物を挙げることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 アルキル化薬，代謝拮抗薬，抗腫瘍性抗生物質，微小管阻害薬，ホルモン類，白金化合物，分子標的治療薬，生体応答調節物質，その他の抗腫瘍薬に分類される代表的な抗腫瘍薬を挙げ，それぞれ作用機序について簡潔に説明できる。（教科書：p306-319） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｄ　抗腫瘍薬 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。 Ｃ－６－４）　薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	松本　裕子
2023/06/05（月） 3時限 13:10～14:40	鎮痛薬実習（２）	【授業の一般目標】 鎮痛薬および関連薬の効果を統計学的に解析する。また次回行う「用量反応曲線実習」の手順について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.実験動物の仮性疼痛反応とその評価法について説明できる。 2.薬物の併用が起こす現象（競合的拮抗）について説明できる。 3.麻薬性鎮痛薬の作用機序について説明できる。 4.客観的に薬効を評価する方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 鎮痛薬とその作用の特徴について理解を深める。また次回行う「用量反応曲線実習」の手順を説明できる。（教科書：p135-143，253-264） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/06/05（月） 3時限 13:10～14:40	鎮痛薬実習（２）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ａ　鎮痛薬 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/06/05（月） 4時限 14:50～16:20	鎮痛薬実習（２）	【授業の一般目標】 鎮痛薬および関連薬の効果を統計学的に解析する。また次回行う「用量反応曲線実習」の手順について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.実験動物の仮性疼痛反応とその評価法について説明できる。 2.薬物の併用が起こす現象（競合的拮抗）について説明できる。 3.麻薬性鎮痛薬の作用機序について説明できる。 4.客観的に薬効を評価する方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 鎮痛薬とその作用の特徴について理解を深める。また次回行う「用量反応曲線実習」の手順を説明できる。（教科書：p135-143，253-264） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ａ　鎮痛薬 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/06/12（月） 2時限 10:40～12:10	ビタミン，ホルモン，免疫系に作用する薬物	【授業の一般目標】 ビタミン，ホルモン，免疫系に作用する薬物を挙げ，臨床上の用途と作用機序について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.代表的なビタミンと，その臨床上の用途を挙げられる。 2.甲状腺を作用点とする薬物を列挙できる。 3.性ホルモンと性ホルモン拮抗薬を列挙できる。 4.代表的な免疫抑制薬および免疫賦活薬と，それらの用途について挙げられる。 5.抗アレルギー薬とその作用機序について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 （１）ビタミンについて簡潔に説明できる。また，主な脂溶性および水溶性ビタミンを挙げて作用と欠乏症について簡潔に説明できる。（２）免疫について簡潔に説明できる。また，主な免疫抑制薬，免疫賦活薬を挙げ，用途と作用機序の特徴について簡潔に説明できる。（３）主なアレルギーの治療薬を挙げ，作用機序に浮いて簡潔に説明できる。（４）抗リウマチ薬を挙げ，作用機序を簡潔に説明できる。（教科書：p220-229，294-305） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　ミニッツペーパー 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】	松本　裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/06/12（月） 2時限 10:40～12:10	ビタミン，ホルモン，免疫系に作用する薬物	３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｅ　代謝改善薬、ビタミン 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。	松本　裕子
2023/06/12（月） 3時限 13:10～14:40	末梢神経系に作用する薬物	【授業の一般目標】 末梢神経系に作用する薬物のうち，交感神経および副交感神経に作用する薬物・自律神経系に作用する薬物について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 交感神経および副交感神経に作用する薬物について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 交感神経および副交感神経に作用する薬物・自律神経系に作用する薬物について説明できる。（教科書：p118-123） 準備学修時間：約30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	石毛　久美子
2023/06/12（月） 4時限 14:50～16:20	循環器系・腎臓に作用する薬物	【授業の一般目標】 循環器系または腎臓に作用する代表的な薬物について知り，その作用機序を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 高血圧症治療薬を分類し，代表的な薬物の作用機序を説明できる。 2. 心不全治療薬を挙げ，作用機序を説明できる。 3. 不整脈治療薬を挙げ，作用機序を説明できる。 4. 狭心症治療薬を挙げ，作用機序を説明できる。 5. 利尿薬および抗利尿薬を挙げ，作用機序を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 代表的な高血圧治療薬，心不全治療薬，抗不整脈薬，狭心症治療薬，利尿薬を挙げて作用機序について簡単に説明できる。（教科書：p164-174，p189-193） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。	石毛　久美子
2023/06/19（月） 2時限	口腔粘膜疾患に用いる薬物，口腔・	【授業の一般目標】 口腔粘膜疾患に用いる薬物について知る。	松本　裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10	顎顔面に現れる薬物の副作用，有害作用	口腔・顎顔面に現れる薬物の副作用・有害作用とその原因，対処法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物を用いた口腔粘膜疾患への対応法について説明できる。 2. 口腔・顎顔面に現れる薬物の副作用・有害作用について説明できる。 3. 薬物の副作用・有害作用への対処法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 主な口腔粘膜疾患とその治療に用いる薬物を挙げられる。歯科領域において留意すべき薬物の副作用・有害作用を原因薬と関連付けて簡潔に説明できる。（教科書：p74-75，320-326） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｄ　薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-４）　薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	松本　裕子
2023/06/19（月） 3時限 13:10～14:40	呼吸器に作用する薬物	【授業の一般目標】 代表的な呼吸器系疾患治療薬について知り，作用機序について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 呼吸器系疾患の代表的な治療薬の作用機序について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 代表的な気管支喘息治療薬，鎮咳薬，去痰薬，呼吸促進薬を挙げ，作用機序を簡単に説明できる。（教科書：p194-198） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。	石毛　久美子
2023/06/19（月） 4時限 14:50～16:20	消化器系に作用する薬物・代謝性疾患治療薬	【授業の一般目標】 消化器系に作用する薬物と代謝性疾患の治療に用いられる薬物を知り，作用機序について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 消化器系に作用する薬物を挙げられる。 2. 消化器系に作用する代表的な薬物の作用機序が説明できる。 3. 甲状腺機能の異常の治療に用いる薬物の作用機序が説明できる。 4. 性ホルモンと性ホルモン拮抗薬について説明できる。 5. 糖尿病の代表的な治療薬の作用機序が説明できる。 6. 脂質異常症の代表的な治療薬の作用機序が説明できる。 7. 高尿酸血症と痛風の代表的な治療薬の作用機序が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 胃・腸・肝臓を作用点とする薬物とその作用機序について説明できる。（教科書：p199-206） 甲状腺機能の異常の治療に用いる薬物の作用機序が説明できる。（教科書：p207-219） 糖尿病の代表的な治療薬の作用機序が説明できる。（教科書：p209-214） 性ホルモンと性ホルモン拮抗薬について説明できる。（教科書：p214-217） 脂質異常症の代表的な治療薬の作用機序が説明できる。（教科書：p217-219）	石毛　久美子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/06/19（月） 4時限 14:50～16:20	消化器系に作用する薬物・代謝性疾患治療薬	高尿酸血症と痛風の代表的な治療薬の作用機序が説明できる。（教科書：p219） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。	石毛　久美子
2023/06/26（月） 2時限 10:40～12:10	歯内療法薬，歯周疾患治療薬，う蝕予防薬	【授業の一般目標】 歯内療法薬，歯周疾患治療薬，う蝕予防薬について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯内療法薬の種類と作用機序と臨床応用を説明できる。 2. 歯周疾患治療薬、う蝕予防薬の種類と作用機序と臨床応用を説明できる。 3. 歯内療法薬、歯周疾患治療薬、う蝕予防薬について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法（う窩消毒，歯髄鎮静・鎮痛，象牙質知覚過敏の治療，覆髄・断髄，根管清掃・拡大補助，根管消毒，根管充填），歯周疾患治療（プラークの抑制，歯周外科関連薬物），う蝕予防（フッ化物，代用甘味料）に用いる薬剤を挙げて，用途と特徴について簡潔に説明できる。（教科書：p368-393） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　ミニッツペーパー 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｂ　歯内療法 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	川島　央暉 三枝　禎
2023/06/26（月） 3時限 13:10～14:40	薬物動態実習（1）	【授業の一般目標】 シミュレータを用いて薬物の血中濃度の変化を観察し，薬物動態について理解を深める。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物の血中濃度と相関する諸因子を挙げられる。 2. 投与方法による薬物の血中濃度の変化の違いについて説明できる。 3. 生物学的半減期について説明できる。 4. 生物学的利用能について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬物の血中濃度と薬理作用の関連性，血中濃度-時間曲線について簡単に説明できる。（教科書：p44-55） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/06/26（月） 3時限 13:10～14:40	薬物動態実習（1）	３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/06/26（月） 4時限 14:50～16:20	薬物動態実習（1）	【授業の一般目標】 シミュレータを用いて薬物の血中濃度の変化を観察し，薬物動態について理解を深める。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物の血中濃度と相関する諸因子を挙げられる。 2. 投与方法による薬物の血中濃度の変化の違いについて説明できる。 3. 生物学的半減期について説明できる。 4. 生物学的利用能について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬物の血中濃度と薬理作用の関連性，血中濃度-時間曲線について簡単に説明できる。（教科書：p44-55） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習結果に関するディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/07/03（月） 2時限 10:40～12:10	平常試験２（講義）	【授業の一般目標】 薬理学２の講義（4月10日～6月26日）に関する筆答試験を行う。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬理学２の実習の要点について記述できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理学２の講義の要点について記述できる。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：120分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無　筆答試験（アクティブラーニングの成果を評価する） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ③薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/07/03（月） 2時限 10:40～12:10	平常試験２（講義）	②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/07/03（月） 3時限 13:10～14:40	薬物動態実習（２）	【授業の一般目標】 シミュレータを用いて薬物の血中濃度の変化を観察し，薬物動態について理解を深める。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物の血中濃度と相関する諸因子を挙げられる。 2. 投与方法による薬物の血中濃度の変化の違いについて説明できる。 3. 生物学的半減期について説明できる。 4. 生物学的利用能について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬物の血中濃度と薬理作用の関連性，血中濃度-時間曲線について簡単に説明できる。（教科書：p44-55） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　ミニッツペーパー 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/07/03（月） 4時限 14:50～16:20	薬物動態実習（２）	【授業の一般目標】 シミュレータを用いて薬物の血中濃度の変化を観察し，薬物動態について理解を深める。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物の血中濃度と相関する諸因子を挙げられる。 2. 投与方法による薬物の血中濃度の変化の違いについて説明できる。 3. 生物学的半減期について説明できる。 4. 生物学的利用能について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬物の血中濃度と薬理作用の関連性，血中濃度-時間曲線について簡単に説明できる。（教科書：p44-55） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　ミニッツペーパー 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/07/10（月） 2時限 10:40～12:10	がん性疼痛治療法 ペインコントロール	【授業の一般目標】 緩和医療におけるペイン（疼痛）コントロールの重要性について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. がん性疼痛の治療法について説明できる。 2. ペインコントロールについて説明できる。	三枝　禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/07/10（月） 2時限 10:40～12:10	がん性疼痛治療法 ペインコントロール	【準備学修項目と準備学修時間】 麻薬性鎮痛薬の作用機序，副作用，臨床応用の留意点について説明できる。（教科書：p135-143） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ５　緩和医療とターミナルケア ア　緩和医療 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-１）　薬物と医薬品 ①医薬品の分類を説明できる。 ②毒薬、劇薬及び麻薬等の表示と保管を説明できる。 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ④薬物の連用の影響（耐性、蓄積及び薬物依存）を説明できる。	三枝　禎
2023/07/10（月） 3時限 13:10～14:40	硬組織，唾液腺に作用する薬物	【授業の一般目標】 硬組織，唾液腺に作用する薬物について理解できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.硬組織、唾液腺に作用する薬物の種類と作用機序と臨床応用を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 硬組織に作用する薬物（カルシウム調節ホルモン，ビタミンK，選択的エストロゲン受容体モジュレーター，ビスホスホネート製剤，抗RANKL抗体）を挙げて，用途と作用の特徴について簡潔に説明できる。（教科書：p327-338） 唾液腺に作用する薬物（唾液分泌促進薬または口腔乾燥症治療薬，唾液分泌阻害薬）を挙げて，作用機序について簡潔に説明できる。（教科書：p339-346） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　ミニッツペーパー 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。	青野　悠里
2023/07/10（月） 4時限 14:50～16:20	漢方薬による治療の基礎	【授業の一般目標】 漢方薬による治療に関する概念と用語を知る。生薬について知る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.漢方薬による治療に関する概念，用語を知る。 2.生薬について知る。 【準備学修項目と準備学修時間】 漢方薬を用いた治療の特徴について知る。歯科適応のある漢方薬と用途を挙げられる(教科書：p394-399)。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室	松﨑　桂一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/07/10（月） 4時限 14:50～16:20	漢方薬による治療の基礎	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｈ　和漢薬（漢方薬） 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	松﨑　桂一
2023/07/24（月） 2時限 10:40～12:10	平常試験３（実習）	【授業の一般目標】 薬理学２の実習と実習に関連した講義（4月10日～7月3日）に関する筆答試験を行う。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬理学２の実習の要点について記述できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理学２の実習の要点について記述できる。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：120分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ③薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/07/24（月） 3時限 13:10～14:40	薬物の処方実習	【授業の一般目標】 安全で有効な薬物療法を行う上での留意点について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 患者の状況に即した薬物を処方できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 処方せんについて説明できる。薬物の効果に影響を与える諸因子をライフステージの面から簡潔に説明できる。（教科書：p94-95，80-84） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　ミニッツペーパー 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｃ　服薬計画・指導 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－１）　薬物と医薬品 ①医薬品の分類を説明できる。 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 Ｃ－６－４）　薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里 石濱　済美 岡田　秀彦 鹿島　健司 郡司　明彦 佐藤　裕介 田村　幸彦 勅使川原　洋 富山　勝則 箱崎　浩介 横山　仁恵

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/07/24（月） 4時限 14:50～16:20	薬物の処方実習	【授業の一般目標】 安全で有効な薬物療法を行う上での留意点について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.処方した薬物の情報を収集し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 処方せんについて説明できる。薬物の効果に影響を与える諸因子をライフステージの面から簡潔に説明できる。（教科書：p94-95，80-84） 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　ミニッツペーパー 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｃ　服薬計画・指導 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-１）　薬物と医薬品 ①医薬品の分類を説明できる。 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ-６-３）　薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 Ｃ-６-４）　薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里 石濱　済美 岡田　秀彦 鹿島　健司 郡司　明彦 佐藤　裕介 田村　幸彦 勅使川原　洋 富山　勝則 箱崎　浩介 横山　仁恵
2023/08/21（月） 2時限 10:40～12:10	平常試験４（講義）	【授業の一般目標】 薬理学２の講義（4月10日～7月10日）に関する筆答試験を行う。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬理学２の講義の要点について記述できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理学２の講義の要点が記述できる。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：120分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-６　生体と薬物 Ｃ-６-２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ-６-４）　薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/08/21（月） 3時限 13:10～14:40	薬理学２まとめ・解説	【授業の一般目標】 平常試験１～４を主な題材とし，薬理学２の要点を確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬理学２の講義における要点が説明できる。 2.薬理学２の実習における要点が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理学２の講義・実習項目を挙げられる。薬理学２の講義・実習における要点が説明できる。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　ミニッツペーパー	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/08/21（月） 3時限 13:10～14:40	薬理学２まとめ・解説	【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－４）　薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里
2023/08/21（月） 4時限 14:50～16:20	薬理学２まとめ	【授業の一般目標】 平常試験１～４を主な題材とし，薬理学２の要点を確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬理学２の講義における要点が説明できる。 2. 薬理学２の実習における要点が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 薬理学２の講義・実習項目を挙げられる。薬理学２の講義・実習における要点が説明できる。 事前学修項目：教科書 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 ３０１教室、第１実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－６　生体と薬物 Ｃ－６－２）　薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 Ｃ－６－４）　薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	三枝　禎 松本　裕子 青野　悠里